

○ タ イ ト ル : 第9回日本がんサポーターブケア学会学術集会(#JASCC24)

アンケート

○ 日 時 : 2024年5月18日(土)・19日(日)

○ 会 場 : 埼玉会館
〒330-8518 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-1-4

○ 会 長 : 渡邊 清高(帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科 教授)

○ テ ー マ
私たちの 夢をかなえる がん支持医療
Cancer Supportive Care Makes Our Dreams Come True

○ 主 催 事 務 局 : 帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科
〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1

○ 運 営 事 務 局 : 株式会社インタープラン・コーポレーション
〒150-0046 東京都渋谷区松濤1-28-4 松濤六番館4階

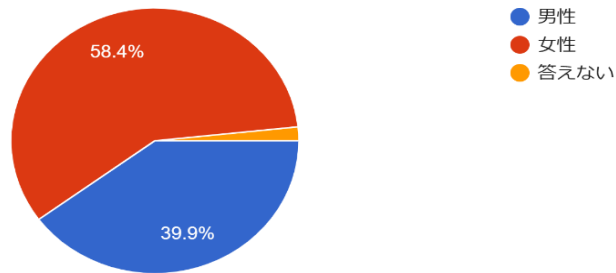
○ 参 加 者 数 :
有料参加者 1,034名
招待者(海外含む) 52名
プレス 20名
共催・展示 60名
運営ボランティア 39名

合計 1,205名

○ アンケート回収数 : 238件

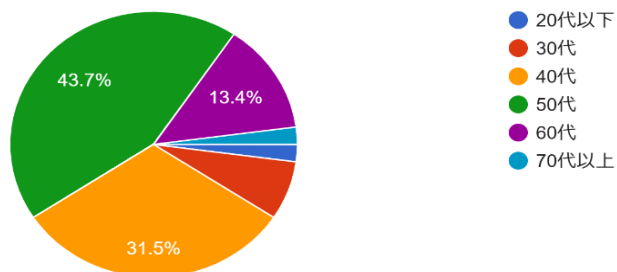
1. 性別を教えてください

238 件の回答



2. 年代をお選びください

238 件の回答



3. お住まいの都道府県をお教えてください

東京都	68	28.7%
神奈川県	22	9.3%
埼玉県	22	9.3%
静岡県	18	7.6%
大阪府	10	4.2%
千葉県	8	3.4%
広島県	8	3.4%
愛知県	7	3.0%
福岡県	6	2.5%
石川県	5	2.1%
茨城県	5	2.1%
群馬県	5	2.1%
兵庫県	5	2.1%
北海道	5	2.1%
京都府	4	1.7%
長野県	4	1.7%
福島県	3	1.3%

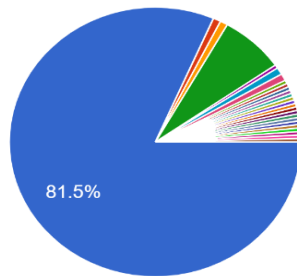
青森県	2	0.8%
秋田県	2	0.8%
愛媛県	2	0.8%
岐阜県	2	0.8%
栃木県	2	0.8%
新潟県	2	0.8%
福井県	2	0.8%
宮城県	2	0.8%
山形県	2	0.8%
岩手県	1	0.4%
岡山県	1	0.4%
沖縄県	1	0.4%
香川県	1	0.4%
鹿児島県	1	0.4%
熊本県	1	0.4%
滋賀県	1	0.4%
鳥取県	1	0.4%
長崎県	1	0.4%
奈良県	1	0.4%
三重県	1	0.4%
山口県	1	0.4%
山梨県	1	0.4%
和歌山県	1	0.4%

4. 属性をお聞かせください

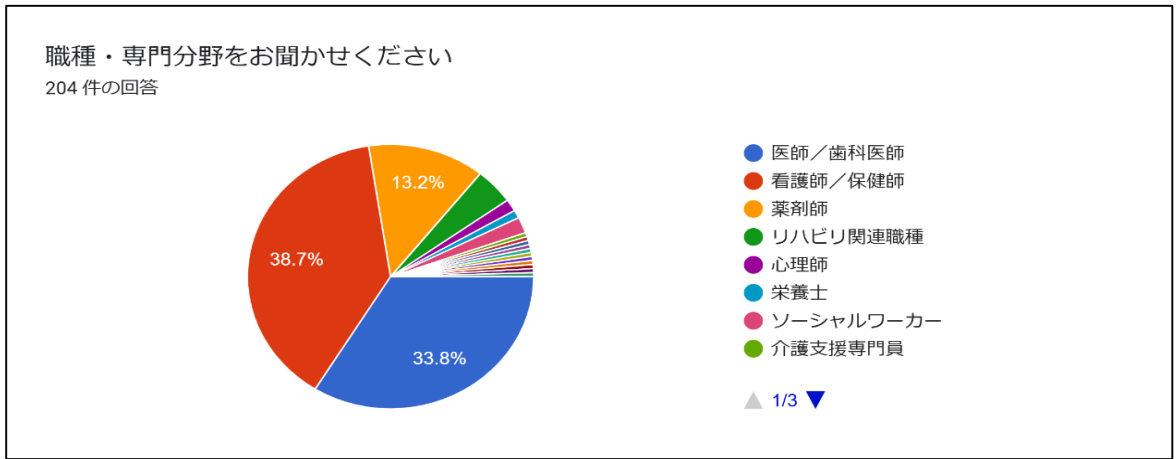
医療関係者	196	82.7%
患者・当事者	17	7.2%
教育・研究員	6	2.5%
製薬企業関連	5	2.1%
患者支援者・支援団体	4	1.7%
学生・大学院生	2	0.8%
企業関係者	2	0.8%
福祉・介護関係者	2	0.8%
医療機器メーカー	1	0.4%
一般市民	1	0.4%
図書館司書	1	0.4%

4. 属性をお聞かせください

238 件の回答



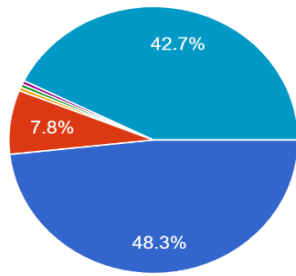
5. 上記で医療関係者および福祉・介護関係者にチェックされた方にお尋ねします
 職種・専門分野をお聞かせください



看護師／保健師	79	38.7%
医師／歯科医師	69	33.8%
薬剤師	27	13.2%
リハビリ関連職種	9	4.4%
ソーシャルワーカー	4	2.0%
心理師	3	1.5%
栄養士	2	1.0%
教員・研究者	2	1.0%
介護支援専門員	1	0.5%
事務	1	0.5%
医療美容師	1	0.5%
介護福祉士	1	0.5%
学生	1	0.5%
その他医療	1	0.5%
臨床検査技師	1	0.5%
非常勤講師	1	0.5%
鍼灸師	1	0.5%

6. JASCC会員ですか

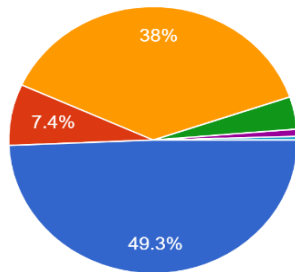
232 件の回答



- 正会員・国際会員
- 準会員
- 学生会員
- 名誉会員
- 賛助会員
- 非会員

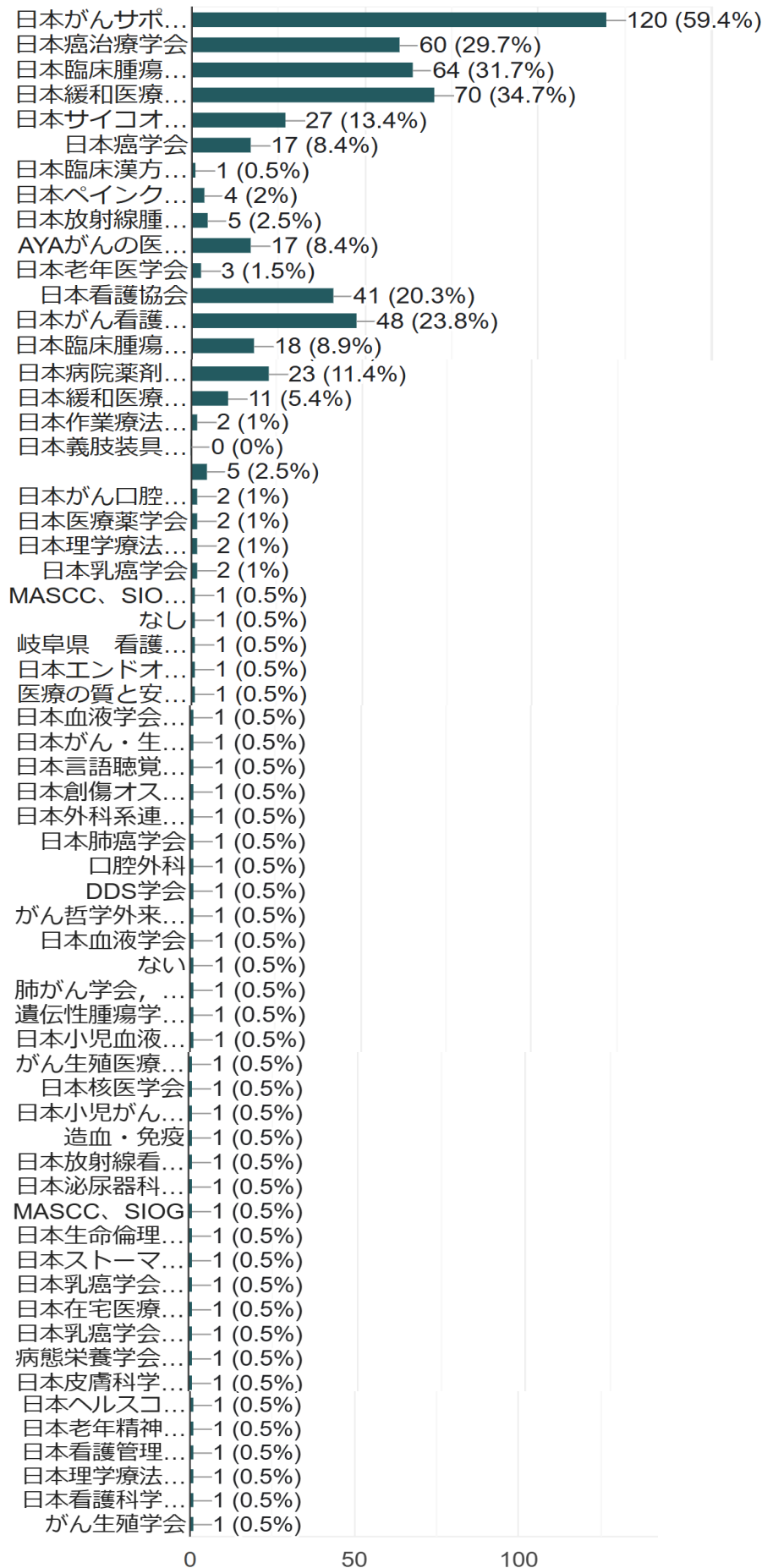
6-1. 参加区分をお教えてください

229 件の回答



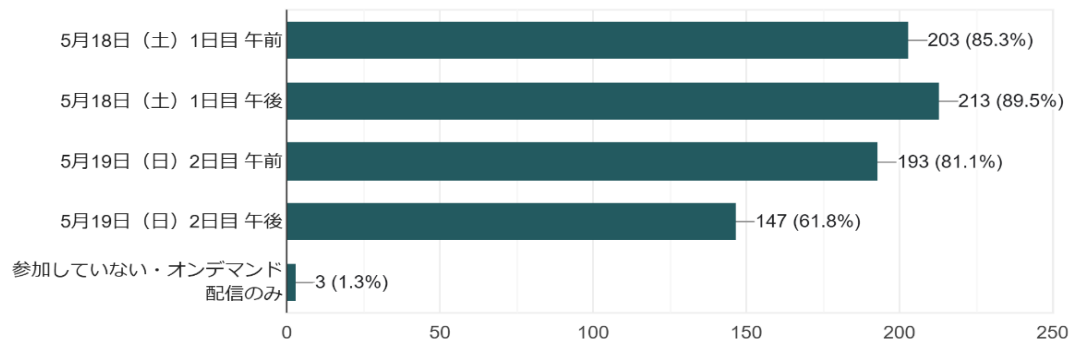
- 正会員・国際会員
- 準会員
- 非会員 (医療関係者など)
- 非会員 (患者/家族・市民)
- 学部学生
- ボランティア

7. JASCCを含めて、所属しているがん関連の学会を教えてください(当てはまるものすべてにチェック)

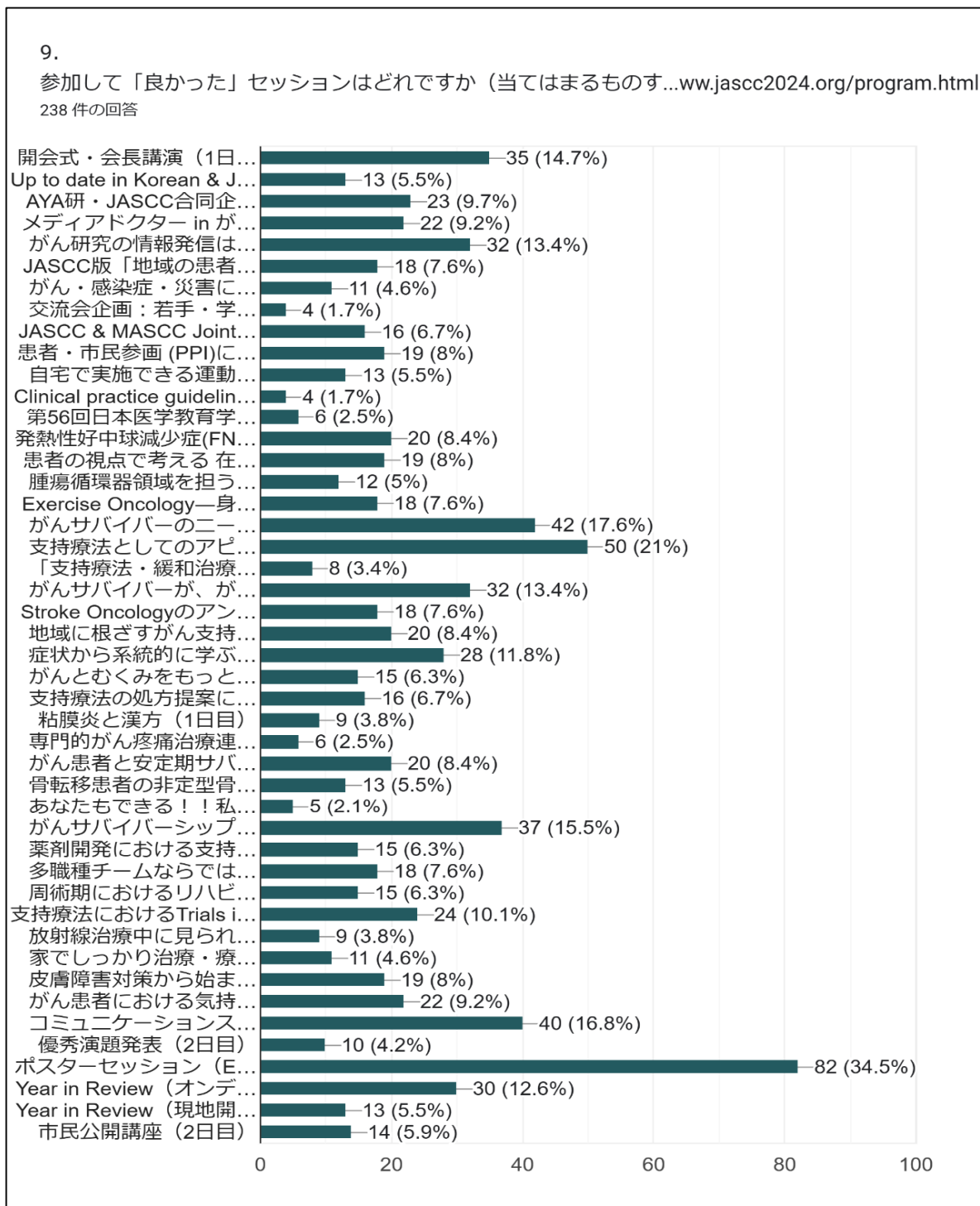


8. 参加した日・時間帯を教えてください（当てはまるものすべて選択してください）

238 件の回答



9. 参加して「良かった」セッションはどれですか(当てはまるものすべて選択してください)



10. 参加したセッションについて、「良かった」と感じた点があれば具体的にお書きください。

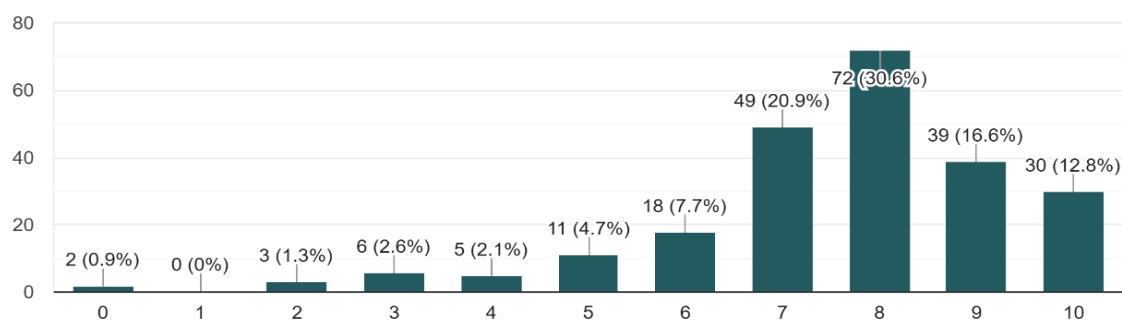
さまざまな立場の意見や考えを聞くことができた、交流ができた(11件)
アピアランスケアについて詳しく知ることができた(7件)
最新の情報・研究を知ることができた(6件)
ポスター発表が良かった(4件)
AIのセッション(参加型)が良かった(3件)
患者さんとつくりあげている、一緒に進んでいく姿勢が良かった(3件)
患者さん(サバイバー)の声を聞くことができた(3件)
活発な質疑が行われていた(3件)
情報発信に関するテーマが良かった(2件)
参加者の熱意が伝わってきた(2件)
実技があった(2件)
Year in Review(現地開催)は、部会でどのような取り組みを考えているのかが良く理解出来た
東京都と埼玉県のがんへの取り組みが同じセッションで見られ、興味深かった。都道府県レベルと市町村レベルで考えるとまだまだ対応に温度差があるなど感じた。コメンテーターの辛口の意見は新たな気づきとなった。また、ポスターセッションで図書館のがん教育など、地域のがん啓発活動などの実例はとても参考になった。
AYA研共催では、AYA世代の教育内容や受け手の反応を紹介いただけただけで、自施設で出会うAYA世代への関わり方のヒントを得られました
漢方は粘膜炎や食欲不振などにも効果がある、エビデンスもふえてきているなど、漢方に興味をもてた
周術期のリハビリテーションは研究を進める必要性と、そこから見える支持医療としての可能性が感じられた。
口腔支持療法を専門としており、その領域におけるセッションなので興味があったため。
倦怠感や非定型骨折など、新たな知識を得ることができた。高齢者の意思決定支援について、自分自身の振り返りと、今後活かせる内容であり、良かった。アピアランスケアについて、メイクなどの技術になりがちであるが、悩んでいる患者に寄り添うケアとはなにか、折り合いをつけていく過程で、看護師にできることは何か学べた。
疾病横断、多岐に渡る議論で、支持療法の幅広さを実感できました。
がんサバイバーが必要と感じている情報であっても医療機関からの情報提供には主治医の方針などもあり全てを提供する事は難しい現状にジレンマを感じたが、根底には寄り添って欲しい、情報を得て自分で決めたいと思っている事について改めてはっと気付かされた。
眼科、皮膚科、脳神経内科、腫瘍内科の医師の話はとても学びが多く、臨床での困りごとを解決する指標となりました。
サバイバーシップ関連情報の内容と発信のセッションについて、患者会・研究者・企業など異なる立場から、それぞれの意識や問題点を伺うことができ、大変勉強になった。とくに企業サイトや患者会運営の実態については聞く機会がなかったので、工夫や発信内容なども参考になった。
「がん患者と不定期サバイバーの境目を考える」もう少し詳しくお聴きする時間がほしいと思いました。またセッション企画して欲しいと感じました。
患者市民にもとてもフレンドリーでわかりやすく、とても勉強になりました。
臨床で経験している課題のヒントになった
熱い志を持ったいろんな職種の仲間たちを見て自分のモチベーションが上がりました
今回は特にがんリハビリテーションについて見識を深めたく参加させていただきました。多職種によるがんリハビリテーションの成果や、リハビリテーションにも密接な関係のある骨転移カンサーボードを会場で試行されたことを通じ、患者に対する治療のみならず精神的な寄り添いに誠意を持って臨んでいらっしゃる従事者のお取組みに感銘を受けました。今回の聴講の数々から学んだことは自団体に持ち帰り、医療関係者と患者支援者との連携を模索する活動に繋げたいと思います。

11. 参加したセッションについて、「改善すべき」と感じた点があれば具体的にお書きください。

会場が狭い、会場に入りきれない(31件)
ポスターセッションの時間(11件)
ポスターを好きな時間に見たかった、オンライン配信して欲しい(3件)
会場のキャパシティと参加人数の差(空いている会場と満員の会場とのバランス)(2件)
演題受付がセッションの間しかできなかったこと
登壇者の人数が多いと議論が表面で終わってしまう
ディスカッションがあると嬉しい
基礎研究に関する発表が少なかった点
E-ポスターセッション会場がやや狭いと感じました。また、片方の会場は完全な室内ではなかったため、周囲からの音がやや気になりました。スライドの登録はやはりPCセンターで一括して行えると安心です。

12. 今回の学術集会を採点すると、ズバリ、何点ですか？（0点：悪い — 10点：満点）

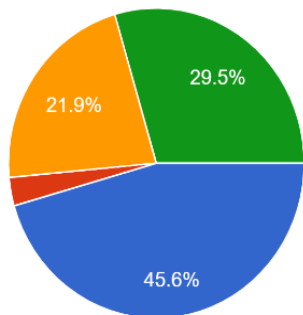
235件の回答



13. 学術集会の企画について(今後取り上げてほしいテーマ、話を聞きたい演者、など)ご意見、ご感想、ご提案を自由にお書きください。

DX(4件)
支持療法(4件)
アピアランスケア(4件)
がんリハビリテーション(3件)
教育(3件)
就労支援(3件)
地域連携(2件)
末梢神経障害(2件)
サバイバーシップ関連(2件)
栄養関連(2件)
情報提供、情報発信(2件)
高齢者の医療、機能評価(2件)
格差に関して
地域に埋もれていて、素晴らしい研究や取り組みをしている人や団体を掘り起こして活動報告などしていただく
今回は口腔ケア関連のプログラムが少々足りなかった感がありました。
皮膚障害対策のエビデンス(薬物療法)を多職種でディスカッションしたい 皮膚障害対策の非薬物療法について多職種でディスカッションしたい 皮膚障害対策に対するスキンケアのハンズオンセミナーをしたい 経口抗がん剤のアピアランス向上のための介入について多職種で考える (医師、看護師、薬剤師)
在宅看とりについて 地域住民に対するACP普及について
ドレーン管理、創傷処置、尿道留置カテーテル、ストマ等の自己管理について
がん治療における意思決定を、深掘りするセッションを是非お願いしたいです
小児領域との連携のご検討を頂ければ幸いです。
診断期のメンタルサポート、周術期の支持医療、初期治療が落ち着いた後の経過観察期間のサポート
頭頸部癌で放射線治療による有害事象について(口腔乾燥、味覚障害、根面う蝕とORN)
かかりつけ医と病院の連携が素晴らしい事例を提示してほしい
脳転移、髄膜炎の痛みや意識障害に対するケアについて難渋することがあり、学びたい。
皮膚障害について。臨床研究について。
今まで参加していなかった、あるいは少なかった診療科の医師への啓発
がん関連脳卒中についてももう少し幅広く取り上げてほしい。
がんの治療と副作用に対するケアについて、継続できるしくみづくりについてももう少し聞きたい。限りあるマンパワーで、がん治療とともに副作用に対するサポートやがんサバイバーのサポートなどが、多職種で無理なく継続されるには課題も多く、うまくいっている事例が知りたい。
災害対策
エクササイズオンコロジー
他の学会とのコラボレーション

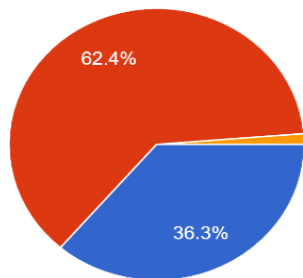
14. 今回の学術集会 (#JASCC24) では、現地開催主体 + オンデマンド配信 (一部プログラム: Year in Reviewのみ) + ライブ配信 (市民公開講座のみ) でした。オンラインを組み合わせた開催形式について



- 今回の形式 (現地主体+一部オンデマンド+一部ライブ配信) がよい
- 現地開催のみがよい
- オンデマンドの比率を増やしてほしい
- ハイブリッド形式にしてほしい (現地+ライブ配信)

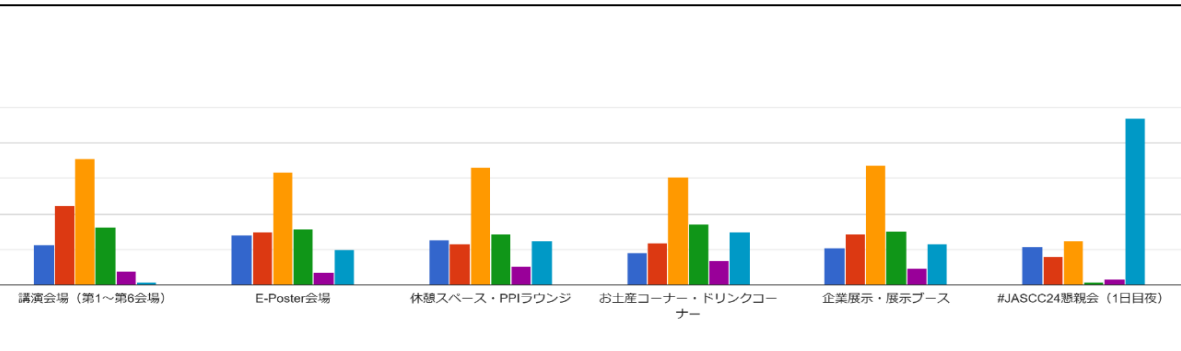
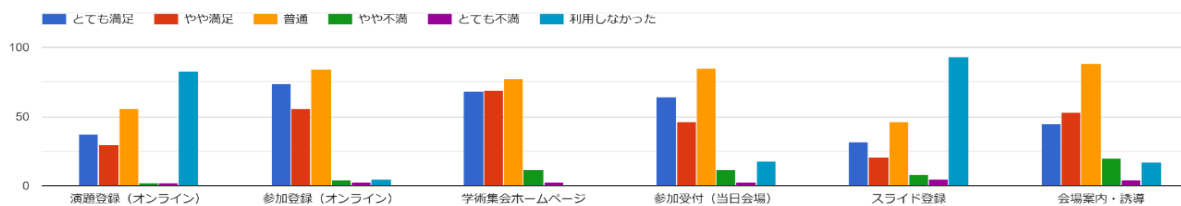
15. 参加費用について、ご意見をお聞かせください。

237 件の回答

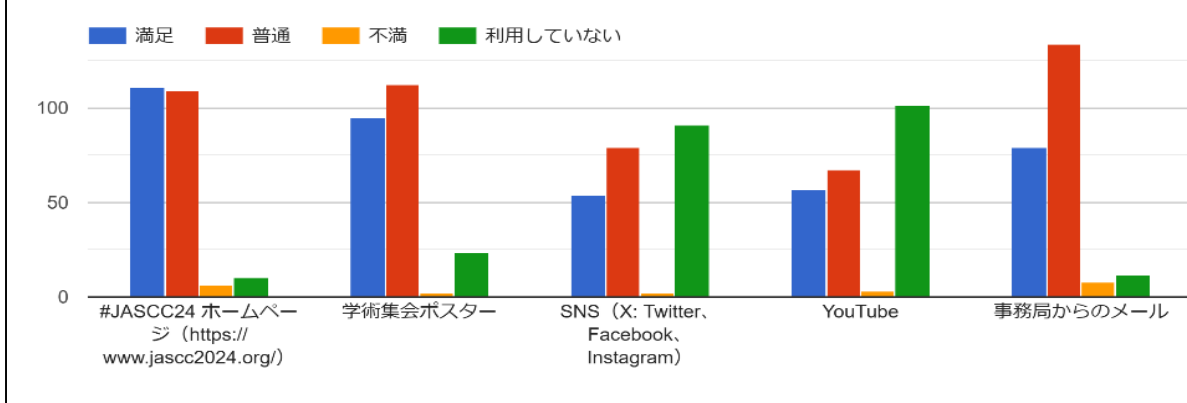


- 今回より安いほうがよい
- 今回と同程度の金額がよい
- 今回より高いほうがよい

16. 学術集会での以下のサービスについて、ご感想をお聞かせください



17. 今回の学術集会では、広報ツール(ホームページ、ポスター、SNS、YouTubeチャンネル、ハッシュタグ #JASCC24)を積極的に活用しました。ご意見をお聞かせください。



18. 学術集会での運営やサービス全般について、ご意見をお書きください。

会場が狭い(17件)
オンデマンド配信を増やして欲しい(10件)
良かった(8件)
エレベーターが少ない、込み合っていた(7件)
事務連絡が遅い(5件)
WiFiが不便、接続が悪い(4件)
会場案内がわかりにくい、建物が複雑(3件)
書籍販売があるとよかった(2件)
プログラムなどをもう少し早くあげてもらいたい
遠方からのアクセスが良いところで開催して欲しいです
参加QRコードがどこにあるか分かりにくかった
1日目のポスター会場への誘導(入り口が閉鎖)が遅かったので、多くの演者がある前で長く待っていた。時間通りに進めていただくことが大切と思う。そのため、開会式への参加ができなかった方もいた。
教育セッションなど企画ものの開催前の顔合わせや打合せの場と時間の提供が欲しかった。
初めての参加でしたが、参加し易い雰囲気にご満足しました。一般市民参加の企画も素晴らしいと思いました。参加されている方々も真剣に講義を聴講していて、皆様の日頃から医療に取り組まれている熱い思いが伝わってきました。その熱い思いを受け取り、皆様と共に今後も学びを深めていこうと思いました。ありがとうございました！お疲れさまでした！